

## 令和4年度第1回津島市地域公共交通会議 議事録

### 1 開催日時

令和4年9月15日（木） 午前10時から午前11時30分まで

### 2 開催場所

津島市役所 3階 市長公室

### 3 出席者

別紙「令和4年度第1回津島市地域公共交通会議出席者名簿」のとおり

### 4 議事

- (1) 令和3年度のふれあいバスの運行実績について（報告）
- (2) その他

### 5 会議資料

令和3年度ふれあいバスの運行実績について 配布資料要点

資料1 津島市ふれあいバス 利用状況と運行負担経費について

資料2 令和3年度 津島市ふれあいバス乗車記録表

資料3 令和3年度 津島市ふれあいバス停留所別乗降者数

資料4 令和3年度 新型コロナウイルス感染者数と津島市ふれあいバスの利用者数の  
相関について

資料5 津島市ふれあいバス 利用者数の年度間比較

資料6 永和駅停留所延伸による利用者数の変化

資料7 系統図・時刻表について

ふれあいバス時刻表

津島市おでかけタクシー事業に関するチラシ

公共交通会議パンフレット

公共交通利用促進パンフレット

バスの死角注意喚起パンフレット

中部地区バス運転士合同就職説明会パンフレット

### 6 挨拶

#### 【会長】

本日の会議では、令和3年度のふれあいバスの運行実績について報告させて頂いた上で、皆様からご意見を賜りたい。また、議題の他にも地域公共交通の全般に関して、活発なご意見の交換の場にさせて頂きたい。

**【愛知運輸支局】**

《資料をもとに説明》

この会議は多様な立場の方々が参加しており、それぞれの立場から活発な議論を行うために、公共交通会議パンフレットに目を通して頂きたい。地域公共交通はまちづくりには不可欠な要素である。より良いまちづくりに向けて、それぞれの立場から前向きな議論に努めて頂きたい。

新型コロナウイルス感染症により公共交通の利用は落ち込んだが、感染対策を講じた上で多くの方に安心して公共交通を利用頂けるよう公共交通利用促進パンフレットを作成している。公共交通を安心して利用できる雰囲気づくりにも努めて頂きたい。

車内事故のみならず、バスを降車した後の事故にも注意して頂くためバスの死角注意喚起パンフレットを作成した。道路を横断する際や停車中のバスの近くを通行する際等は、バスに死角があることを認識した上で注意して通行をして頂きたい。

**7 議事要旨**

(1) 令和3年度のふれあいバスの運行実績について（報告）

**【事務局】**

《資料1から資料7をもとに説明》

**【中部大学教授】**

資料4の散布図について、相関係数の検定を行うためにサンプル数と相関係数・重相関係数についても記載して頂きたい。

**【事務局】**

今後補足として追加するようにする。

**【市民代表】**

大縄町の接続便について利用がなかったとのことだが、利用がなされなかった理由を町内から聞いているか。また、今後の展開等について詳細をご説明願いたい。

**【事務局】**

接続便については、大縄町地域の住民からバス停設置に関する要望を受け、現在の車両では幅員の都合により侵入が難しいため、代替として最寄りのふれあいバス停留所まで予約制でタクシー車両を試験運行したものである。町内からは事前予約であることのハードルが高く、予約が必要であれば自転車等の他の交通手段で移動する選択をしていると聞いている。公共交通の利用が困難な地域であることには変わらないので、今後も継続して大縄町地域を始め、市内全域からの意見も踏まえながら、公共交通のあり方について検討していきたいと考えている。

**【愛知運輸支局】**

Dコースの利用が減少している理由の詳細についてご説明願いたい。

**【事務局】**

コロナによる影響以外の詳細な要因については、停留所別の乗降者数等を比較して分析を進めてまいりたい。

**【中部大学教授】**

Aコースとその他3コースについては性格が違う。B・C・Dコースにおいては、ヨシヅヤ本店までの経路が同じであり、この3コース内でヨシヅヤ本店までの乗降者の入れ替えがあった可能性も考えられる。

**【事務局】**

時刻の変更を行ったことにより、乗降車の入れ替えがあった可能性は考えられる。

**【市民代表】**

免許証の返納者が増えており、ふれあいバスを利用したいとの声を聞く機会が増えたが、停留所まで行くことが困難である等の意見を耳にする。

また、喜楽町に新しい団地ができ、ふれあいバスを喜楽町にも走らせて欲しいとの要望もあったので、ふれあいバスを利用する住民からの意見を積極的に集め、今後のバスの方向性を決めるための参考にして頂きたい。

**【会長】**

バスの車両更新も控えており、今後きめ細やかな公共交通を提供していくためにも、ふれあいバスを利用した方々からの意見を調査する必要があると考えている。次年度に調査を行い、次回の車両更新やルート改正等の参考としたい。

**【交通運輸産業労働組合協議会】**

Aコースにおいて、逆回りがあるといいと言った意見を聞く。津島市においては、2台で4コースを賄っているが、三河地区においてはコース専用のバスがあるケースもあり、予算の都合も考慮しなければならないが、運行本数がもう少しあると良いと考える。

**【会長】**

次回の車両更新やルート改正等の参考にさせて頂く。

**【愛知県バス協会】**

ふれあいバスに関しては、高齢者の需要が中心かと思われる。令和4年度において、利用者数は令和3年度と比較してどのように推移しているのか。

**【事務局】**

令和4年7月時点でのデータであるが、前年比で約113%である。コロナ禍以前の水準までは回復していないが、令和2年度と令和3年度がほぼ同水準であったことを踏まえると、やや回復の傾向にある。

**【愛知県バス協会】**

ふれあいバス以外の名鉄バスやタクシー、鉄道の実績についてのデータも提示して頂きたい。

**【会長】**

次年度の会議に向けて、ふれあいバス以外の公共交通に関するデータについても整理

したい。

#### 【名鉄バス】

名鉄バスの名古屋津島線・岩塚線における令和4年度の現時点での乗降者数に関して、令和3年比で約115%であるが、コロナ禍以前の平成31（令和元）年比では約83%であり、会社としてこの水準で頭打ちであるとの認識をしている。

車両の更新に関して、納品の遅れが生じている状態であるので、車両更新に向けて動き出す際は事前に相談させて頂きたい。

#### 【津島警察署】

バス停の設置に関して、横断歩道の付近等、危険な箇所もある。設置基準もあるため、停留所の新設や移設に当たっては事前に相談頂きたい。

免許証返納者に対する無料乗車券の配布事業に関しては、知らない住民も多くいると思われるため、周知方法等含め検討して頂きたい。警察署にもチラシの配架スペースがあるため、チラシ等を作成している場合は活用して頂きたい。

#### 【会長】

無料乗車券のPRに関しては、協力を頂きながら進めていきたい。

#### 【愛知県海部建設事務所】

バスの通行やバス停の設置の際には、県道の幅員が関わってくる。今後のルート検討や停留所の新設・移設の際には基準等についてお示しできるので相談頂きたい。

#### 【愛知県交通対策課】

コロナの感染者数とふれあいバスの利用者の相関を見る限り、感染状況に関わらず利用しなければならない層が一定数いると考えられるので、その点においてふれあいバスは地域公共交通としての役割を果たしていると言える。

#### 【津島市都市整備課】

道路幅員が障壁となってふれあいバスが運行できないケースもあると思う。今後のルートや停留所の新設・移設を検討する上で、道路拡幅が必要であれば相談をして頂きたい。そういった要望も踏まえた上で道路整備も進めていきたいので、積極的に意見を頂きたい。

#### 【中部大学教授】

今回、バスの運行会社と市役所が保有する乗降客数等のデータをもとに分析を進めたが、「地域の住民がどう感じているか」という指標もとても大切である。実際、前回の巡回バスの検討委員会においても多くの意見が出た。利用者からの幅広く意見を聴取できる仕組みづくりを進めて欲しい。

永和駅停留所の延伸における影響がトピックになっていたが、市境をまたぐ路線等に対しては、県として調整の体制を整えることでより広域に渡る交通ネットワークが形成

に繋がると思うので、県は各市町村間の調整等に尽力して公共交通施策を進めて頂きたい。

【会長】

現在、広域に渡るバスの運行に関しては、愛西市から津島市民病院への乗り入れがある。相乗効果があると思われる乗り入れ等については、積極的に検討していくことが必要だと考えている。

## 8 その他

### (1) 津島おでかけタクシー事業の運行開始について（報告）

【事務局】

〈資料をもとに説明〉

【市民代表】

利用登録証の発行とは、どのような手続きを想定しているのかお示し頂きたい。

【会長】

詳細については、担当部局への確認が必要である。現在調整している点も多く、広報等により決定次第周知することになると思われる。

【愛知運輸支局】

登録証を紛失した際等、現場で想定し得るトラブルについてはタクシー事業者等と事前に綿密な協議が必要であると考えている。また、1回10分の立ち寄りについては、趣旨は分かりかねるが、例えば時間をどのように計るのか等、現場での対応に困ることが無いように協議が必要であると考えている。

【会長】

意見については、担当部局へ情報共有させて頂く。

【名鉄バス】

既存事業者への配慮をお願いしたい。公共交通全体としてどのような影響があるかについて把握して頂く必要があると考えている。

【会長】

予算計上前に、津島営業所には事前に情報を提供させて頂いており、運行後のふれあいバスを含む公共交通全体への影響についても注視していく必要があると考えている。公共交通会議の中で頂いた意見等をもとに、必要なデータ分析についても進めてまいりたい。

【愛知運輸支局】

地域の営業所だけでなく、津島市公共交通会議の枠組みを活用し委員に情報が届くようお願いしたい。

【会長】

現在、議会の承認前であり、制度設計等を始め、詳細が定まっていない点もある。制度が確定次第、既存事業者の皆様へも速やかに情報提供をしてまいりたい。

**【中部大学】**

愛知県においても、おでかけ支援として複数の自治体でモデル事業を実施している。地域公共交通会議との関係性も含め、県でのモデル事業等を参考にして、津島市での運用について検討していくと良いと考える。

(2) バスのドライバーの労働条件の見直しについて（報告）

**【愛知運輸支局】**

ドライバーの労働時間等の改善のための基準である改善基準告示について、見直しを行う予定である。現在でもドライバー不足の状況にあるが、今後、改善基準告示の改正により、さらに不足感が増す可能性がある。今年の3月にすでに中間取りまとめを公表しており、今年度中に完成版が公表され、来年度1年間の運用期間を経て、令和6年4月より実施する流れで進んでいる。勤務間インターバルが長くなる等の規制が厳しくなるため、周知も含めお伝えさせて頂いた。現場のドライバーからの意見を聴取して、現在の運行ダイヤやシフト体制について、交通渋滞やダイヤの乱れ等のトラブルが発生した際の状況も踏まえた上で、改善基準告示の見直しを見据えて今一度精査して頂きたい。

(3) 中部地区バス運転士合同就職説明会の案内について

**【愛知県バス協会】**

〈資料をもとに説明〉

東海4県の大型バスの17事業者が一堂に会しブースを出展する予定であるので、関心のある方へご周知願いたい。

**【愛知運輸支局】**

ドライバー不足に対しては、自治体の公共交通部門以外の部門においても困難な状況を乗り越えていける協力体制を整えて頂けるとありがたい。

**【中部大学教授】**

各大学の就職支援窓口も活用して頂きたい。

**9 閉会挨拶**

**【会長】**

貴重なご意見を賜り、ありがとうございました。